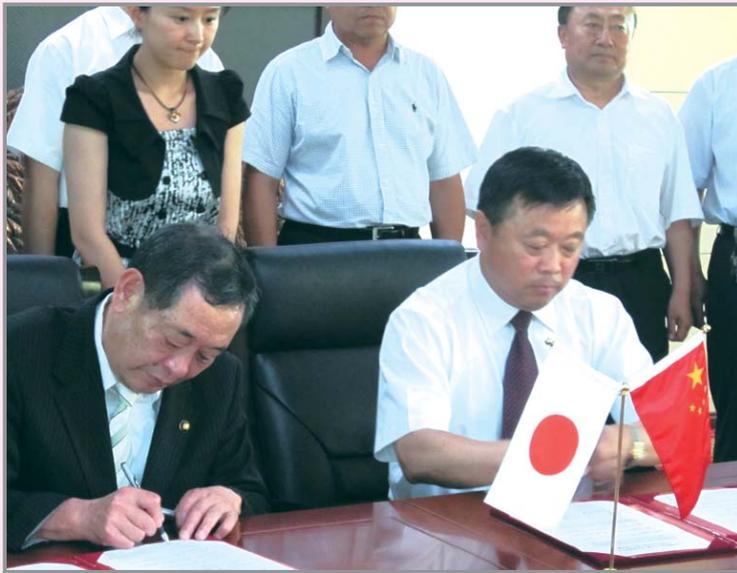


吉田市長・富樫議長ら中国を訪問 黒龍江省・綏化市と友好都市提携を結ぶ!



友好都市提携に関する協定書にサインする吉田市長と王市長

一昨年から中国との国際交流を推進してきた胎内市は、去る7月4日から吉田市長を団長とする使節団が黒龍江省の綏化市を訪れ、友好都市の協定を締結しました。協定書では、教育・文化、産業、観光分野で交流を図ることとされており、綏化市の王金会市長と固い握手の上で協定書を交換し、今後の交流を誓い合いました。胎内市が海外と友好都市の協定を締結するのは、アメリカ・カーボンデール市に続き二市目となります。

一昨年の吉田市長、齋藤議長（当時）の訪中を契機に、昨年、小野教育長を団長とする一行が綏化市を訪れ、また綏化市からは聶副市長が胎内市を訪問するなど、胎内市と綏化市は互いの交流を模索してきました。

このたび、吉田市長を団長とし、富樫議長、日中友好交流の会の熊倉信夫支部長を含む一行10名は、7月4日にハルビンから中国入りし、同日、黒龍江省の綏化市政府庁舎内で正式に友好都市提携に関する協定書を取り交わしました。

綏化市政府庁舎では、王市長の歓迎を受け、互いの市の概要を説明するとともに、今後の交流について意見を述べ合いました。吉田市長は、東日本大震災における中国の支援に感謝するとともに、「胎内市は震災の被害もなく安全である。自然災害は不幸なことであるが、こんな時こそ国際協力の必要性を高め、互いの友情を深めるよい機会だ」と述べました。

また、王市長も「古くから交流のある日本の胎内市と友好都市提携できることは歴史的なことだ」とし、市政府幹部と共に一行を歓迎しました。協定書を締結した後、一行は綏化市の農業施設や工業団地を視察したほか、中国共産党綏化市委員会、ハルビンの黒龍江省人民政府外事弁公室などを表敬訪問。7月7日からは北京を訪れ、今回の友好都市提携を支援していただいた中日友好協会などを訪問し、協定の締結を報告するとともに、今後の交流についても協



綏化市政府庁舎前での記念撮影

力を求めました。今後、胎内市・綏化市では行政（政府）関係者、議会議員（人民代表委員会）、各種団体役員などの人的交流を図りながら、教育・文化、スポーツ、産業、観光など幅広い分野での相互交流を検討していくことになっています。



綏化市シリコンウェハー工場視察



黒龍江省・綏化市の位置図

●綏化市概要：総面積…35211km²、人口…50万人、主要産業…農業